アイデアバンク提案書

朝倉市アイデアバンク設置要綱第３条の規定により、次のとおり提案します。

提案の名称	くみもく あさくら ～朝倉の間伐材で、乗れる遊具を組もう～
テーマ	□ 観光・史跡　□ 農畜産物　□ 文化・スポーツ　■ 教育 ■ 子育て・福祉　■ 環境　■ ＰＲ　□ 防災 □ その他（　　）
エ リ ア	□ 観光地等　□ 遊戯施設等　□ 駅周辺　■ 直売所・公園 ■ 公的施設　■ その他（　芝生などがあればなお良し　）
提案の対象・意図	対象（　市内外の3歳～小学生とその家族、保育・教育関係者　） 意図（　朝倉の木に体全体で触れ、森と間伐の大切さを遊びを通して伝える　）
提案の背景	朝倉市は森林が多く、県内有数の林業地域であり、2024年には木育サミットも開催された。一方で、間伐材を活かして子どもが森を身近に感じる機会は限られている。組み立てから始めて、できたもので遊ぶと楽しい。
提案の概要	朝倉市の間伐材で作った格子パーツを組み上げ、子どもが乗って遊べる遊具をつくる体験ワークショップ
提案の具体的内容	切り込みの間隔をそろえた間伐材のパーツ（長板・短板・曲線板など）を事前に製作し、当日は差し込んで組むだけで遊具ができるようにする。釘や工具を使わないため、木工の経験がない子や小さな子も参加できる。 組み方次第で、乗るとゆらゆら揺れるお椀、大きな椅子、ミニすべり台など、子ども1人が乗れる大きさの遊具になる。運ぶ・組む・乗る・揺れるを通して、体全体で朝倉の木を感じられる。 はじめに森と間伐の話を聞き、組んだ部分を留める「くさび」を自分でやすりがけして焼き印を入れる。自分のくさびで遊具を完成させ、終わったらおみやげとして持ち帰る。キットは繰り返し使えるため、保育施設や地域のお祭りへの貸し出しにも展開できる。
事業効果	木工が好きな子に限らず幅広い子どもが参加でき、親子や子ども同士の交流が生まれる。間伐材の活用と森の大切さの理解につながり、「朝倉の木でできた遊具」として市内外へのPRにもなる。キットは繰り返し使えるため、継続的な事業として展開できる。
特記事項	